

# 校報 北斗牙ゆる

文責：一関市立舞川中学校 校長 今川 晋

2026年3月13日（金）

～遂げずばやまじ～

一関市立舞川中学校  
学校だより No.12



## ～卒業おめでとうございます！～



本日、無事に、卒業証書授与式を挙行することが出来ました。関係する皆様方に感謝申し上げます。以下、式辞を掲載させていただきます。

### 式辞

校庭から望む兎烏が森の木々も、柔らかな光をまとい、静かに、しかし力強く春の息吹を届けてくれています。

この良き日に、本日は一関市長 佐藤善仁(さとう よしひと)様、一関市教育委員会副参事 佐々木修路(ささき しゅうじ)様、PTA会長 佐藤 千草(さとう ちぐさ)様をはじめ、多くのご来賓の皆様方と、保護者の方々のご臨席を賜り、こうして、卒業証書授与式をとり行うことができました。関係するすべての皆様方に心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。皆さんが晴れやかな表情で旅立ちの日を迎えたことを心から嬉しく思います。そんな皆さんも仲間との関わりの中で時に悩み、立ち止まり、葛藤していたね。対話を重ね、相手の痛みを知ることで、皆さんは「自分たちだけの固い絆」を築き上げました。行事のたびに一致団結し、後輩たちを力強くリードする姿は、まさに全校の誇りでした。皆さんが背中で見せてくれた「粘り強さ」と「団結力」は、しっかりと後輩たちの心に刻まれています。

皆さんの最大の魅力は、その「優しさ」です。誰かの気持ちに寄り添うことができる。それは、今の時代において何よりも尊いことです。その優しさを持ち続けていれば、どこへ行っても必ず誰かがあなたを助け、またあなたも誰かの光になることができます。

4月からの新しい生活では、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、この学校から見上げた兎烏が森の景色と、共に汗を流した仲間の笑顔を思い出してください。皆さんの前途に、幸多からんことを心から願っています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。心身ともに大きく成長する三年間、共に喜び、共に悩みながら、お子様を支え今日の日を迎えられたことと思います。保護者の皆様のこれまでの学校に対するご理解とご協力に心から感謝いたします。

ご出席いただいたご来賓の方々におかれましても、今後とも引き続き、卒業生へご支援・ご協力をいただければ幸いです。

最後になりますが、卒業生十七名の前途を祝し、みなさんの未来が輝かしいものになることを祈念して式辞といたします。

一関市立舞川中学校長 今川 晋

## ～修了証書授与に決意を込める～

1・2年生のみなさんは、4月からひとつ進級し、それぞれ、2年生、3年生になります。修了式は16日の月曜日に行われ、そこで『修了証書』が渡されますが、そのときまでに、みなさんには、この1年を振り返り、次年度の決意をもってほしいと思います。どんな形でもいいです。例えば、「この1年、自分なりに頑張れた。4月からは、後輩の手本になるように頑張ろう」、「苦手なことがあってもあきらめないぞ。できることが1つでも増えればいいんだ!」のような感じがかまいません。実際の修了証書は、式の後、教室で担任の先生から渡されますが、そのとき、1年を振り返り、次の目標を抱けるか、抱けないか……。たったこれだけでも、春休み以降の過ごし方が違ってきます。新年度のスタートにも影響します。各ご家庭におかれましては、修了式後、ぜひお子さんに、どんな1年だったか、そして、どんな決意をもっているのかを聞いてみてください。励ましやアドバイスをできればなおいいでしょう。これも、やる、やらないでは、その後のお子さんの生活の充実度や、家族との関係に影響してくると思います。少し早いですが、進級おめでとうございます。次年度の活躍、成長を楽しみにしています。

